

水産の窓

黒潮の北偏傾向は今後も継続

0m深水温は「やや高め～高め」、100m深水温は「平年並～高め」
(会瀬～大洗では概ね「平年並～やや高め」)で推移

(令和5年2月の海況と今後の予測)

4 - N o . 2 7
令和5年2月24日
茨城県水産試験場

1 海洋観測結果 (2/17～18: 調査船「いばらき丸」)

- 水深別水温図を図2、3、4に、鉛直図を図5に示しました。水温は0m深で13～18℃台、50m深で14～18℃台、100m深で11～18℃台、200m深で8～16℃台でした(図2)。
- 前月と比較すると、気温の低下により海水が冷却されて鉛直混合が進み、0～50m深では全域で降温傾向となりました。100～200m深では鹿島の141° 20' E以东と犬吠埼の141° 15' E以东で黒潮の影響により昇温傾向、他で降温傾向となりました(図3)。
- 平年と比較すると、0～50m深では「やや高め～高め」、100m深では会瀬の141° 00' E～141° 30' E付近で「平年並」、他で「やや高め～高め」、200m深では黒潮流路で「やや高め～極めて高め」、他で概ね「平年並」となりました(図4)。
- 潮流は140° 50' E以西の沿岸域と141° 15' E以东の黒潮流路で真潮傾向、他で逆潮傾向となりました。

2 本県周辺海況の現況

- 本県海域の0m深水温は13～18℃となっています(図1)。
- 黒潮は犬吠埼の東35マイル、塩屋埼の東55マイルを北北東に流れています。黒潮の北限は143° E付近で38° N付近まで達し、北偏しています(2月17日海上保安庁「海洋速報」より)。
- 会瀬～大洗の141° 00' E～141° 30' E周辺では、黒潮からの逆流による影響が弱まったことで、100～200m深で親潮系冷水による影響が認められます。一方、0m深では黒潮による影響が残り、全域で水温が平年よりも高くなっています。

3 今後1か月の見通し

- 黒潮の立ち上がりは今後も継続すると考えられ、0～50m深では141° E以东を中心に黒潮からの暖水波及による影響がみられるでしょう。
- 1か月後の水温は、黒潮とその暖水波及により0m深で「やや高め～高め」、100m深で「平年並～高め」(親潮系冷水の影響で会瀬～大洗では概ね「平年並～やや高め」)で推移する見込みです。

【参考】2月の0m深の平年値(142° E以西の30年間(1991-2020)の平均水温)

(定線別平年値*) 会瀬: 11～13℃台、大洗: 11～13℃台、鹿島: 12～15℃台、犬吠埼: 14～17℃台

詳しい情報は茨城県水産試験場ホームページをご覧ください。

(回遊性資源部 小熊 進之介)

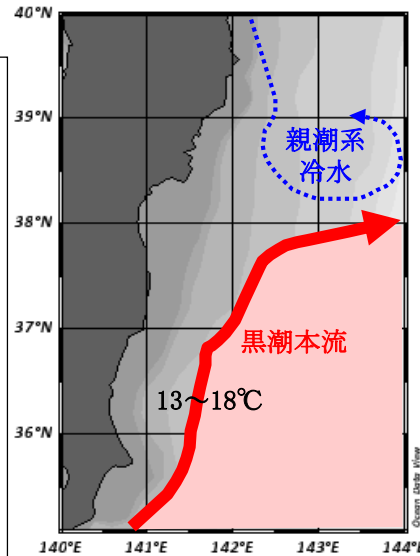


図1. 海況の現況
(2月16日)

※水温は平年値と比較して、
±1.5℃が「平年並」、
±1.6～3.9℃が「やや高め・やや低め」、
±4.0～6.0℃が「高め・低め」、
±6.1℃以上が「極めて高め・極めて低め」

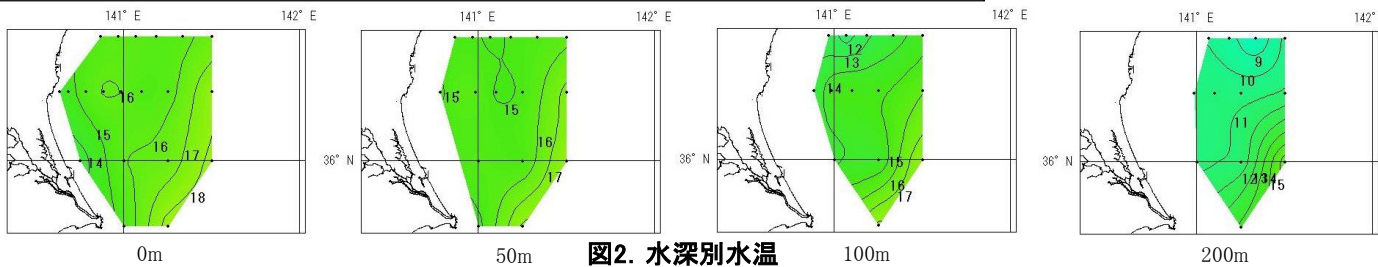


図2. 水深別水温

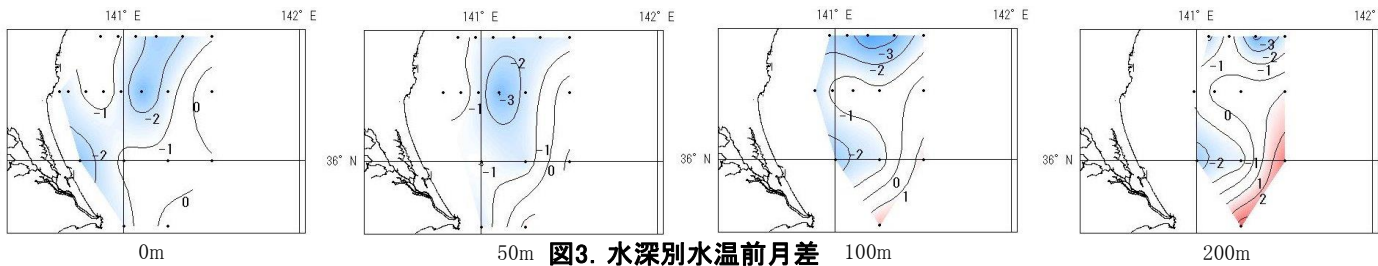


図3. 水深別水温前月差

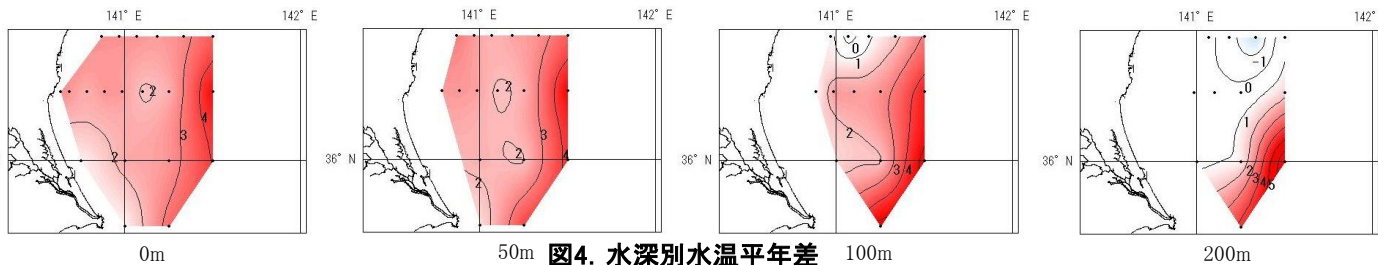


図4. 水深別水温平年差

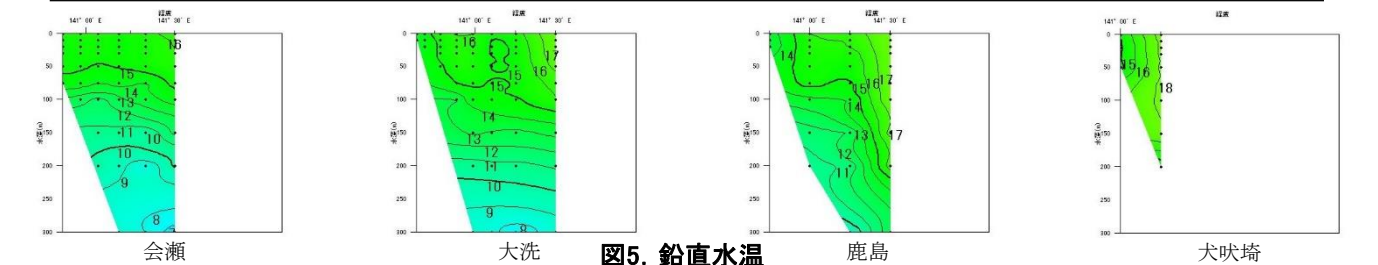


図5. 鉛直水温

【次号予告】R5.3.3.発行の「水産の窓」は、『令和5年冬春季(3～5月)の沿岸漁海況予報』を予定しています。